

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	( )
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	田代 (田代)

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	8.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.7 ha
② 田の面積	7.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

## (2) 地域農業の現状及び課題

当地区の主な作物は水稲、大根等である。また、それに加え畜産1戸、ハウスみかん1戸の経営農家がある。課題として山あいの農地は耕作放棄地として増えつつ、イノシシ被害が増えてきている。また、ため池からの用水路の老朽化も著しく、維持管理に大変苦慮している。後継者については4割ほどの農家で確保できている状況ではあるが、高齢化、兼業農家が多いことから将来農家の数は減少すると見込まれる。農業者:12戸(うち認定農業者2人)、専業農家3戸

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

多面的事業また中山間事業は重要な事業と位置付け、取り組みを継続していき、後継者の確保については将来的な課題であり、今後の担い手確保の検討を進める。作物は今後も水稲、大根等、また畜産やハウスみかんの栽培を継続していく。水稲の代わりに露地野菜の栽培もしていく。イノシシ対策は地域全域でワイヤーメッシュを設置しているが効果が十分でないため、各個人で電牧も設置してはいるが、一層の取り組みを強化していきたい。

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手に支障がない範囲で農地利用を進めていくが、新たな担い手の確保に努めていく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	22	%	将来の目標とする集積率
			22 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
当面は各個人で管理をしていく。 将来的には集落で管理していくが、集落営農については現在のところ取り組む予定はない
(2)農地中間管理機構の活用方法
地区として活用についての方針は定めない。活用については各個人で検討する。
(3)基盤整備事業への取組
当地区の形状は耕地整理により野面石積みで棚田圃場であることから、重要な資源として後世に残す必要があるのではと考えることから、現在のところ取り組む意向はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
新規就農の予定は現在のところない。また、後継者については各農家での取り組みとする。地域内への参入については当地区の形状等条件下では可能性は低いので、呼び込む方針は積極的にはとらない。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
活動方針は定めていないが、各農家がグループで田植え等実施しており、今後も現状を維持しつつ集落内で実施していく予定で遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシ対策としてワイヤーメッシュを設置し、修繕等維持管理を実施しているが効果が十分ではないため、個人で電気牧柵を実施しているが今後も効果が十分発揮するよう強化していきたい。  
 ②減農薬・減肥料(佐賀県特別栽培登録制度)の取り組みを実施している。  
 ⑧ため池、用水路、農道等維持管理についてはこれまでどうり集落で取り組んでいく。また地区集落センター内の倉庫も今後維持管理、活用していく。  
 ⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、適宜協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、集落協定の会議を活用して変更案の内容協議や意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者			0 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	1	
利用者			0 ha	0 ha		0.9 ha	0 ha	2	
利用者		水稲 野菜	1.2 ha	0 ha	水稲 野菜	1.1 ha	0 ha	3	
利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	4	
認農		水稲 野菜	1.9 ha	0 ha	水稲 野菜	1.9 ha	0 ha	5	
利用者		水稲 野菜	0.6 ha	0 ha	水稲 野菜	0.6 ha	0 ha	6	
利用者			0 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	7	
利用者		水稲	1.1 ha	0 ha	水稲	1.2 ha	0 ha	8	
利用者			0 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	9	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			5.3 ha	0 ha		6.7 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。